

5 まとめ

5.1 今年度の成果

永平寺と門前町、そして行政が一体となって取り組む『禅の里』まちづくりに対し、永平寺、地域住民ともに関心・意識を高め、平成 23 年度に実施された各事業の推進に対しても積極的な参画が行われ、『禅の里』まちづくりに向けた気運が大いに高まった。

以下に各事業における成果を述べる。

5.1.1 『禅の里』まちづくり実行委員会・事務局会議の運営

- 先進地視察や学識経験者、学生との意見交換等を含む勉強会を通して、永平寺及び門前町において、もっと注目し活かすべき資源は何か、逆に、『禅の里』としての雰囲気醸成していく上で課題となっている点は何かなどを共有することができた。
- 『禅の里』まちづくり実行委員会を重ねる中で、組織に永平寺、門前町、行政それぞれから委員が参画し、協働でまちづくりを推進していく体制構築を行うことができた。
- 今まで、まちづくりの表に出てこなかった門前町の若者が事務局会メンバーとして勉強会を行い、まちづくりについての思いを伝える場ができたことで、次年度以降において若者を中心とした事業や大学と連携した事業など幅広いまちづくりに向けての基盤ができた。

5.1.2 情報発信・PR 戦略検討事業

- 天気の状況により「冬の燈籠まつり」は中止となったが、『禅の里』まちづくり講演会参加者を対象として IC カードを用いた門前町での割引サービスを実施した。
- 当日、門前通りに面する店舗の約 8 割に相当する 17 店舗が営業時間を 20 : 00 まで延長することを決定し、門前での買い物の楽しさを知ってもらうきっかけづくりとなった（通常は、17 : 00 頃閉店）。
- 永平寺への来訪者の基本動向を調査するために、イベントのない閑散期において IC カードを用いた割引サービスを実施し、上記取り組みとあわせて来訪者の基本的な動向を定量的に把握することができた。
- 調査の結果、今後、来訪者の増大、周遊の拡大に向けて、来訪者のニーズに対応した商品やサービスの提供、商品・サービスの差別化、歴史・文化・自然に富んだ『禅の里』の魅力の情報発信が必要であることを確認した。今後、イベント時における動向の把握をあわせて行い、効果の確認・検証を行っていく必要があることを確認した。
- 『禅の里』まちづくりの実施においては、継続的な情報発信が必要であることを確認し、『禅の里』まちづくりとしてホームページによる情報提供を行っていくこととした。

5.1.3 『禅の里』まちづくり講演会の開催

- 講演会には町内さらには福井市や金沢市等町外からも事前に 250 名の申込みがあり、当日、福井放送の「The タイムリー 福井」での放送の効果もあり、330 名が『禅の里』まちづくり講演会に参加していただけた。
- 講演会を通して、永平寺が伝える禅の精神や門前町でのもてなしの心を育て、永平寺と門前町が一体となって『禅の里』としての雰囲気醸成していくことが、人々の郷土愛の創造や教育（禅の心）の充実、さらには、永平寺町のみならず、福井県全体の観光振興や、地域経済の発展にも寄与するといった思いを共有することができた。
- 特に、事務局メンバーの『禅の里』まちづくりへの思いや、今後、門前が変わっていく姿をぜひ皆さんに見て欲しいという挨拶に門前の多くの方が共感し、アンケートでは『禅の里』まちづくりへ期待を持たれた方が 7 割、『禅の里』まちづくりへ参画したいと答えた方が 3 割と多くの方に指示された。

5.2 次年度の取組み展開

平成 24 年度では、今年度のまちづくり活動を通じ、以下の 4 つの事業について検討を進めるものとする。

5.2.1 門前町集落の再生に関する『禅の里』まちづくり実行委員会の実施

- 『禅の里』まちづくり実行委員会での取り組みや、今後の検討課題等を協議するための委員会及び同事務局会を各 5 回程度開催（期間：平成 24 年 5 月、7 月、10 月、12 月、平成 25 年 2 月を予定）
- 永平寺をはじめ、本地域が有する文化遺産を観光振興や地域活性化に活かしていくための個別の取り組みを推進していくため、3 つの部会を立ち上げて、調査研究及び活性化方策を立案。部会はそれぞれ 8 回程度ずつ開催を予定。（期間：平成 24 年 6 月～平成 25 年 1 月／各部会月 1 回程度）

	部会の目的	取り組み内容	主な構成員
歴史文化遺産活用検討部会	・ 修業道場としての永平寺の歴史的価値や、禅思想と現在の生活文化との係りの再認識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 永平寺の成り立ち、道元禅師の教え、禅の精神等に係る調査研究（文献調査等） ・ 永平寺の七堂伽藍他、山内の建築物に関する時代考証 ・ 永平寺の森林保全、五代杉の利活用に向けた調査研究 	永平寺、永平寺門前観光協会、永平寺町観光物産協会、福井県立埋蔵文化財センター、福井県立歴史博物館、福井市埋蔵文化財センター、永平寺町
門前町活性化検討部会	・ 永平寺の門前町にふさわしい歴史的佇まいや賑わいのあり方についての構想づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 門前町の土地利用、建物、地形・地物、景観、歴史資源等に係る調査 ・ 門前町住民及び参拝客へのアンケート・ヒアリング調査 ・ 歴史的佇まいが感じられる門前町づくりビジョンの共有 	永平寺、永平寺門前観光協会、永平寺町観光物産協会、志比区、永平寺町、福井工業大学
広域連携検討部会	・ 永平寺及び門前町周辺地区との歴史的つながりや周遊観光を意識した広域連携のあり方についての検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 永平寺線が走っていた志比谷地区や永平寺の歴史を発信する四季の森文化館等周辺との連携のあり方についての検討 ・ 一乗谷等永平寺とつながりの深い地域との観光振興の面からの連携のあり方を検討 	永平寺、永平寺門前観光協会、永平寺町観光物産協会、永平寺町、福井市、福井県

- 実行委員会及び部会の運営に関して、まちづくり専門のコンサルタントに企画・運営の一部（資料案作成、進行補助、記録等）を委託

5.2.2 情報発信・PR 戦略検討事業

- H23 年度の検討結果を元に、永平寺の歴史・見所や、門前町との関係、広域観光を支援する周遊ルート等を発信するポータルサイトを立ち上げ、試行的運用を実施
- AR 技術を活用した、スマートフォン、タブレット端末での歴史資源に関する情報（永平寺本山の各ポイントでの映像・文字情報等）提供コンテンツの制作
- エリア放送型システムを活用したコミュニティ番組（永平寺及び門前町での行事・イベント等の告知・開催報告、本事業への参画団体の各取り組みに対する取材、その他地域情報等）の制作
- 永平寺参拝客に対する歴史・地域情報提供の効果（滞在時間、立寄り箇所の増大）を把握するための、IC カードシステムを活用した観光客動向調査及びアンケート調査の継続的实施（各季節毎に実施）
- 電子ペーパーを活用した文化遺産を案内する多言語案内看板の製作
- 情報専門のコンサルタントへの委託（ポータルサイトの立ち上げ、番組制作、各システム構築等）
- 期間：平成 24 年 5 月～平成 25 年 3 月

5.2.3 『禅の里』運営体制構築事業

- 永平寺及び門前町の歴史を語り継ぐ人材（コンシェルジュ）養成教材の作成及び養成講座の開催
- 永平寺の「禅思想」に基づく伝統文化体験教室の開催（食作法、坐禅の作法、和太鼓・永平寺神楽体験、涅槃団子づくり体験）
- 当地区の文化遺産が有するテーマ（大本山永平寺の歴史、門前町の歴史、志比谷の歴史等）ごとに講師を招き、講演一質疑応答を行いながら、地区の系譜を読み解いていく「地元学講座」の開催（全 4 回程度）
- まちづくり専門のコンサルタントへの委託
- 期間：平成 24 年 5 月～平成 25 年 3 月

5.2.4 『禅の里』まちづくり講演会⇒普及啓発

- 「歴史文化遺産活用検討部会」「門前町活性化検討部会」「広域連携検討部会」での取り組み結果等、平成 24 年度の実施事業とその成果を永平寺町内はもとより、福井県内に知ってもらうため、『禅の里』まちづくり講演会を平成 23 年度に続き、継続開催する。
- 実施時期：平成 25 年 2 月
- 会 場：永平寺
- 対 象：永平寺町民、福井県民